

Nyonyum 19号

By JICA-VOLUNTEER DAISAKU TAKAGI

2023年度の授業が終了！～現地教員と歩みを進めた1年

2023年度の授業が、突如終わりました(9月末日に、2024年度のスタートが12月1日となる報告を受け、10月初旬に学年末試験を前倒しで実施、10月中旬から長期休暇に入りました)。今年度は、**現地の先生(以下、CP)とのチームティーチングで、授業力の向上をテーマに、授業を進めてきました**(昨年度は、単独で授業を担当)。また体育教育を充実させるための環境整備にも力を入れてきました。この1年の授業の様子とCPの姿を、写真と共に振り返ります。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10年生	体力測定	器械体操 マット 平均台・鉄棒	ダンス エアロビ クマエビ	休み	陸上 短距離 ハードル	ベタンク	ポッカタオ	バスケット ボール	サッカー	休み		
12年生	体力測定	陸上 短距離 ハードル	器械体操 マット 平均台・鉄棒	休み	ダンス エアロビ クマエビ	ベタンク	ポッカタオ	バレー ボール	サッカー	休み		

担当は、高校1年生8クラスと3年生4クラスの週22時間。左の表は、授業年間計画、1種目8～10時間で構成。担当の高1年と高3年の授業が同一時間に行われる時間帯があり(教員不足が要因の一つ)、その際は一人で授業を担当。

体力測定

身長、体重、体前屈、反復横跳び、上体起こし、立ち幅跳び、50m走、5分完走を実施。背が伸びたり、記録が伸びたりして喜び光景は、日本と変わりません。参考)カンボジアの平均身長は男:162.5cm 女:154.2cm



体育着って？

毎年、年度初めに、クラス単位で、購入。校名入りで約5ドル。毎年購入します。体育着が、日常着になっている生徒もいて、1年経過するとボロボロになってしまいます。

器械体操 (マット・平均台・鉄棒)

CPの苦手種目。特に鉄棒(昨年設置)は、CPにとって人生初めての授業。私が模範演技を見せ、CPが説明するという形で授業を進めました。生徒の多くも初体験、生徒の気持ちに乗せるのに大変苦労しました。



ダンス (エアロビ・伝統ダンス)

CPの苦手種目であり、メインでの指導を頼まれました。指導書に掲載されているステップを3つずつ模範した後、グループ学習で技能習得を目指しました。生徒たちは、リズムを取るのに苦戦していました。



生徒と共に練習を重ね、笑顔で生徒に模範をする姿が見られるまでになりました！

授業を担当するにあたっては、CPの指導力の向上を念頭に、生徒の理解をより促すためのスモールステップによる指導や、また生徒に積極的に声をかけ、褒めたり、アドバイスを送ったりする姿を見られるよう、工夫をしました。

CP(同僚)の紹介

名前:ソク・ワンナラン(42歳、体育教員養成校(当時2年制)を卒業)
 教員歴約17年。体育主任。州内でも指導力が高く、向上心があり意欲的である。「見て学ぶ、見て盗む」能力に長けている。今年9月末に、NGO「ハート・オブ・ゴールド」が主催する日本・岡山県への体育指導者研修ツアーに、スバイリエン州の代表として派遣される。副業として、妻と共に、商店を併設した cafe を経営。また食肉用の牛を育てている。

陸上 (短距離、ハードル)

CPの得意種目。腿上げやスキップなどのウォーミングアップ、クラウチングスタートなどの練習を経て、50m走を実施。前期末試験の時期とも重なり、3、4回で授業が終わってしまったのが残念。



「ハードル」は、水道パイプで制作

ベタンク(*6号で紹介)

世代、性別を超えて、気軽に楽しめる競技。試合時、審判法(計測法や得点の数え方)を教え、生徒にその役割を与えていた点◎。限られたボールの数で、どのように授業を進めるか、工夫の余地あり。



ポッカタオ(*6号で紹介)

2022年11月に、世界無形文化遺産に登録された伝統的な武術。「これまで教えた経験がない」と言っていたCP。しかし、体育指導書を読み込み、体系立てて指導をする姿が見られ、あっぱれ!!!



バスケットボール

ボールを持って走ってしまうなど、ルールを知らない生徒が多数。生徒の理解を促すために、説明をより具体化したり、見本の見せ方を変えたりと、授業の度に指導に変化が見られました!!!



「ボール」は、日本の所属校から送ってもらったものを使用

体育用具保管庫の設置！

9月下旬、校内の貴重な部屋の一つをリニューアルし、念願の体育用具保管庫(日本でいう、器具室)が誕生しました。これまで、用具の劣化が進んだり、盗まれたりという課題があり、CPと共に、設置を強く望んでいました。校長先生はじめ多くの先生方に理解を頂いての保管庫の設置。配属先の体育教育の充実発展に向け、確かな一歩となるはずです。



1年を振り返って

「**体育の先生は大変なんだ**」。ある時、CPがぼやいた言葉です。その真意を尋ねると、「他の教科の先生は、専門教科の塾を開講し収入を得ることができる。体育の先生は皆、別な仕事をしている。また学校では体育が重要視されていないため予算がつかず、体育用具の多くは、体育主任の私が自腹で買っている。主任は今年で辞めようと思っている」と、切実な想いを訴えられました。そして、月日が経ち、「1.校内での体育教育の理解促進、2.体育用具保管庫の設置、3.更衣室の設置、4.走り幅跳び用の砂場の設置、5.スポーツ大会時の学校の資金援助、の実現に向けて、協力してほしい」と、体育教育への熱い想いを伝えられることもありました。時に授業をさぼることもあるけれど(笑)、体育が大好き、体育を通じて生徒たちと関わることも大好き、そして、悩みを抱えながらも、配属先の体育教育の充実に向け、具体的な課題意識を持ち歩みを進めようとするCP。そんな彼と共に、二人三脚で過ごした1年。決して順風満帆ではありませんし、大きな成果を挙げられたわけではありません。しかし、一歩ずつ歩みを進めて来れたのではないかと考えています。今後も、彼のリーダーシップに期待です！